

文化功労賞

中面 智恵子



昭和2年生まれ。小川在住。

県立和歌山高等女学校や師範学校で、現在指導している花・絵・書道などの基礎を学ぶ。和歌山市にて就学していた際に、空襲を体験したが、戦時中であっても学問や芸術の情熱を持ちながら過ごしていた。結婚後、育児や仕事の傍ら、創作活動を続ける。

金屋町文化祭に出展している様々な作品を観覧した岩倉公民館職員より依頼があり、平成14年から岩倉公民館での指導を始める。その活動は生花教室・書道教室・絵手紙教室など多岐に渡る。生徒へはそれぞれの個性や創造性を伸ばし、尚且つ明るい教室運営を心掛けています。また、県外の美術館での見聞や感性を広げる研修会などの企画にも携わる。公民館での指導を20年以上行っている。96歳の現在も現役であり、積極的な活動をし、生徒に慕われている。

これらの文化活動は本町における文化振興に大きく尽力されており、その功績は誠に多大であります。

文化功労賞

宮崎 外治



昭和13年生まれ。水尻在住。

長らく詩吟の指導者として、活躍。穏やかな性格で仲間から慕われ、後輩の育成にも力を入れ、詩吟の普及活動に尽力した。

また、旧吉備町文化協会会長・有田川町文化協会会長を歴任し、詩吟部の枠にとらわれない、各種文化活動との交流活動に尽力。文化祭や芸能発表会では、吟じる傍ら、多くの方の文化活動を後押し、地域住民が多岐にわたる文化を身近に触れる機会を提供した。

また、藤並公民館長として、各種教室や、史跡巡りなど老若男女が参加できる企画を運営し、幅広い世代から支持される文化活動に取り組んだ。

そして、通学路での地域児童の見守り活動や、地域の公園の整備などのボランティア活動にも長年取り組み、地域住民から信頼と尊敬を集めている。

有田川町文化協会会長や公民館長として、長く地域における文化活動に尽力された氏の姿勢は、多くの住民の模範となり、その功績は誠に顕著であります。

文化功労賞

生賀 忠好



昭和13年生まれ。

長年、旧金屋町文化協会・有田川町文化協会に所属し、陶芸やコーラス等指導を務め、文化向上に大きく貢献した。持ち前のリーダーシップで有田川町文化協会会長を務め、会員の文化意識の向上のため、県外の美術館で絵画を鑑賞する等様々な企画立案や意見具申を行う。文化協会盆栽クラブでは、地域広報誌に活動を掲載し、文化協会全体の活動の活発化に尽力した。

また、その活躍は、文化協会内での活動にとどまらず、公民館等での地域の住民との交流を積極的に図り、様々な文化を普及させる活動も積極的に行った。

そして、地域の消防団活動も長年熱心に取り組み、地域住民から信頼と尊敬を集めている。

令和5年5月、有田川町文化協会副会長を在職中に逝去。

生前の活動は、多くの住民の模範となり、その功績は誠に顕著であります。